

大学番号：035

注3

届出

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

石巻専修大学 理工学部 食環境学科 生物科学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 専修大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部

職名・氏名 ジチョウ 次長 コンノヒサオ 今野久男

電話番号 0225-22-7711

（夜間） 0225-22-7711

F A X 0225-22-7710

e-mail hisao@isenshu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学等の概要	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況、経費	13
4	既設大学等の状況	14
5	教員組織の状況	16
6	留意事項に対する履行状況等	30
7	その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 専修大学

(2) 大学名

石巻専修大学

(3) 大学の位置

〒986-8580
宮城県石巻市南境新水戸1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒダカ ヨシヒロ) 日高義博 (平成18年11月)		
学長	(サカタ タカシ) 坂田隆 (平成19年4月)		
学部長	(マルオカ アキラ) 丸岡章 (平成23年4月)	(ヨシハラ アキラ) 吉原章 (平成25年4月)	前任が任期満了のため変更(25)
食環境学科 主任教授		(マエダ トシテル) 前田敏輝 (平成25年4月)	学科新設のため(25)
生物科学科 主任教授		(アベ トモアキ) 阿部知顕 (平成25年4月)	学科新設のため(25)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 食環境学科 学士(工学)	4年	40人	— 年次人	160人	
生物科学科 学士(理学)	4	40	—	160	

(注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

食環境学科

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	0.65倍	
志願者数	70 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	69 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	61 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	26 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.65											

生物科学科

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	1.67倍	
志願者数	174 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	171 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	146 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	67 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.67											

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行って

いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

食環境学科

学年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 26	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	/		[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	/		/		/		
計	[-] 26	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

生物科学科

学年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 67	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	/		[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	/		/		/		
計	[-] 67	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況
食環境学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	26人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
合計	26人	0人					0%

生物科学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	67人	0人	平成25年度	人	人		0%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
合計	67人	0人					0%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 食環境学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学科共通科目	現代教養科目	日本文学	1・2前	2							兼1	集中開講 (25) 教職課程申請の際の指導により名称変更・担当者減 (25)
		日本文化	1・2後	2							兼1	
		哲学	1・2前	2							兼1	
		倫理学	1・2後	2							兼1	
		美学	1・2前	2							兼1	
		芸術論	1・2後	2							兼1	
		教育学概論	1・2前	2							兼1	
		教育原理 (中等)	1・2後	2							兼1	
		教育原理	1・2後	2							兼2	
		日本史	1・2前	2							兼1	
		歴史学	1・2後	2							兼1	
		地理学	1・2前	2							兼1	
		都市論	1・2後	2							兼1	
		法学	1・2前	2							兼1	
		日本国憲法	1・2後	2							兼1	
		基礎経済	1・2前	2							兼1	
		経済学	1・2後	2							兼1	
		社会学	1・2前	2							兼1	
		基礎統計学	1・2前	2							兼1	
	統計学	1・2後	2							兼1		
	総合科目 I	1・2前	2							兼1		
	総合科目 II	1・2後	2							兼1		
	心と身体の健康	健康科学	1・2前	2							兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更 (25) 教職課程申請の際の指導により名称変更・体系的履修の観点から配当年次変更 (25)
		スポーツ科学A	1・2前	2							兼6	
		スポーツ科学B	1・2後	2							兼6	
		心理学	1・2前	2							兼1	
		教育心理学 (中等)	1・2後	2							兼1	
	教育心理学	1・2後	2							兼1		
	教育相談の理論と方法 (中等)	2前	2							兼1		
	教育相談の理論と方法	2後	2							兼1		
	自然の理解	基礎物理学	1前	2							兼1	教員の担当科目調整に伴う担当者減 (25)
		物理学	1後	2							兼1	
		基礎化学	1前	2			1				兼1	
		化学	1後	2							兼1	
		基礎生物学	1前	2							兼1	
		生物学	1後	2							兼1	
		基礎数学 I	1前	2							兼1 兼2	
	基礎数学 II	1後	2							兼1		
	言語スキルの基礎	英語A	1前	2							兼4 兼3	時間割編成・教員の担当科目数・学生数調整により担当者追加 (25) 時間割編成・教員の担当科目数・学生数調整により担当者減 (25) 時間割編成・教員の担当科目数・学生数調整により担当者減 (25) 時間割編成・教員の担当科目数・学生数調整により担当者減 (25) 時間割編成・教員の担当科目数・学生数調整により担当者減 (25)
英語B		1後	2							兼4		
英語C		1前	2							兼1		
英語D		1後	2							兼2		
英語コミュニケーションA		1前	2							兼3 兼5		
英語コミュニケーションB		1後	2							兼3 兼5		
英語コミュニケーションC		2前	2							兼1		
英語コミュニケーションD		2後	2							兼1		
ドイツ語A		1前	2							兼1		
ドイツ語B		1後	2							兼1		
ドイツ語C		1前	2							兼1		
ドイツ語D		1後	2							兼1		
フランス語A		1前	2							兼1 兼2		
フランス語B		1後	2							兼1		
フランス語C		1前	2							兼1		
フランス語D		1後	2							兼1		
中国語A		1前	2							兼2		
中国語B		1後	2							兼1		
中国語C		1前	2							兼2		
中国語D		1後	2							兼1		
ハンゲルA	1前	2							兼1			
ハンゲルB	1後	2							兼1			
ハンゲルC	1前	2							兼1			
ハンゲルD	1後	2							兼1			
海外語学研修	1・2・3前	2							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門必修科目	フレッシュマンセミナー	1通	4			6	3							
	コンピュータ活用Ⅰ	1前	2				1				兼1	担当者変更(25)		
	食環境学実習Ⅰ	1前	1			6	3							
	食環境見学A	1前	1			6	3							
	コンピュータ活用Ⅱ	1後	2				1				兼1	担当者変更(25)		
	食料問題と資源	1後	2			1					兼3			
	キャリアデザインⅠ	2通	2			3								
	生物学実験	2前	1								兼10			
	化学実験	2後	1			5	3				兼2			
	食環境学実習Ⅱ	2後	1			6	3							
	食環境見学B	2後	1			6	3							
	キャリアデザインⅡ	3通	2			3								
	食環境学実験Ⅰ	3前	2			6	3							
	食環境学演習Ⅰ	3前	1			6	3							
	食環境学実験Ⅱ	3後	2			6	3							
	食環境学演習Ⅱ	3後	1			6	3							
	食環境学実験Ⅲ	4前	1			6	3				兼1			
	食環境学演習Ⅲ	4通	2			6	3				兼1			
	卒業研究	4通	6			6	3				兼1			
	食環境学科固有科目	専門発展科目	生化学	1後		2							兼1	
			食と感覚の科学	2前		2							兼1	
			食品機能科学	2前		2		1						
			無機化学	2前		2		1						
			有機化学	2前		2			1					
			多様性生物学	2前		2							兼1	
			生態学	2前		2							兼1	
			公衆衛生学	2前		2							兼1	
食品微生物学			2後		2							兼1		
化学環境学			2後		2		1							
分析化学			2後		2		1							
高分子化学			2後		2			1						
魚類生理学			2後		2							兼1		
環境調査法			2後		2				1					
健康と食生活論			2後		2							兼1		
食品レオロジー			3前		2		1							
栄養学			3前		2		1							
サプリメント論			3前		2		1							
生物環境統計学			3前		2			1						
食品成分の化学			3前		2			1						
食品寄生生物学			3前		2			1						
水質環境工学			3前		2		1							
環境放射能測定学			3前		2		1							
水環境の物理学			3前		2		1							
水圏微生物学			3前		2							兼1		
食品衛生学			3前		2							兼1		
食品加工学			3後		2			1						
極限環境の生物学			3後		2							兼1		
酵素化学			3後		2							兼1		
食品分析化学			3後		2		1							
遺伝子工学			3後		2		1							
食品製造技術工学			3後		2		1							
食品流通と品質保証	3後		2		1									
生物環境工学	3後		2			1								
水質浄化学	3後		2		1									
淡水資源学	3後		2		1									
食品分析実習	3後		1		2	1								
食品工学実習	3後		1		2	1								
水環境学実習	3後		1		2	1								
環境衛生学	3後		2							兼1				
衛生行政学	3後		2							兼1				
専門関連科目	食環境特別科目Ⅰ	1前		2		6	3							
	理工数学	1後		2							兼1			
	理工物理学	1後		2		1								
	理工化学	1後		2		1								
	理工生物学	1後		2							兼1			
	食環境特別科目Ⅱ	2前		2		6	3							
	応用数学	2前		2							兼1			
	微生物学	2前		2							兼1			
	運動と波動	2前		2		1								
	食環境特別科目Ⅲ	2後		2		6	3							
	分子生物学	2後		2		1								
	動物解剖学	2後		2							兼1			
	解析学	2後		2							兼1			
	プランクトン学	2後		2							兼1			
	細胞組織学	3前		2							兼1			
	動物生理学	2後		2							兼1			
	熱力学	3前		2							兼1			
	食環境特別科目Ⅳ	3後		2		6	3							
植物生態学	3後		2							兼1				
植物系統分類学	3前		2							兼1				
海洋動物発生学	3前		2							兼1				

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
食 環 境 学 科 づ こ ま 目 （ 有 き ）	自 由 科 目	フードスペシャリスト論			2						兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(25) 教育課程の充実を図るため科目を追加(25)	
		フードコーディネーター論	2後			2							兼1
		調理学	3前			2							兼1
		調理学実習	3後			2							兼1
		食品官能評価・鑑別論演習	3前			1							兼1
		食品官能評価・鑑別論演習	3前			1					兼1		

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 25	科目 116	科目 3	科目 144	科目 25 [0]	科目 116 [0]	科目 5 [2]	科目 146 [2]	教育課程の充実を図るため、2科目（フードスペシャリスト関連）を自由科目に追加した(25)

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<理工学部 生物科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学科共通科目	現代教養科目	日本文学	1・2前		2							兼1	集中開講 (25)	
		日本文化	1・2後		2							兼1		
		哲学	1・2前		2							兼1		
		倫理学	1・2後		2							兼1		
		美学	1・2前		2							兼1		
		芸術論	1・2後		2							兼1		
		教育学概論	1・2前		2							兼1		
		教育原理 (中等)	1・2後		2							兼1		教職課程申請の際の指導により名称変更・担当者減 (25)
		教育原理			2						兼2			
		人間と社会の理解	日本史	1・2前		2								兼1
		歴史学	1・2後		2									兼1
		地理学	1・2前		2									兼1
		都市論	1・2後		2									兼1
		法学	1・2前		2									兼1
		日本国憲法	1・2後		2									兼1
		基礎経済	1・2前		2									兼1
		経済学	1・2後		2									兼1
	社会学	1・2前		2								兼1		
	基礎統計学	1・2前		2								兼1		
	統計学	1・2後		2								兼1		
	総合科目 I	1・2前		2								兼1		
	総合科目 II	1・2後		2								兼1		
	心と身体の健康	健康科学	1・2前		2								兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更 (25)
		スポーツ科学A	1・2前		2							兼6		
		スポーツ科学B	1・2後		2							兼6		
		心理学	1・2前		2							兼1		
		教育心理学 (中等)	1・2後		2							兼1		
	教育心理学			2							兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更・体系的履修の観点から配当年次変更 (25)		
	自然の理解	基礎物理学	1前		2									兼1
		物理学	1後		2		1						兼1	
		基礎化学	1前		2		1						兼1	
		化学	1後		2								兼1	
		基礎生物学	1前	2									兼1	
		生物学	1後	2				1					兼1	
		基礎数学 I	1前	2					+				兼1	
	基礎数学 II	1後	2									兼1		
	言語スキルの基礎	英語A	1前	2									兼4 兼3	時間割編成・教員の担当科目数・学生数調整により担当者追加 (25)
英語B		1後	2									兼4		
英語C		1前		2								兼1		
英語D		1後		2								兼2		
英語コミュニケーションA		1前		2								兼3 兼5	時間割編成・教員の担当科目数・学生数調整により担当者減 (25)	
英語コミュニケーションB		1後		2								兼3 兼5		
英語コミュニケーションC		2前		2								兼1		
英語コミュニケーションD		2後		2								兼1		
ドイツ語A		1前		2								兼1		
ドイツ語B		1後		2								兼1		
ドイツ語C		1前		2								兼1		
ドイツ語D		1後		2								兼1		
フランス語A		1前		2								兼1 兼2	時間割編成・教員の担当科目数・学生数調整により担当者減 (25)	
フランス語B		1後		2								兼1		
フランス語C		1前		2								兼1		
フランス語D		1後		2								兼1		
中国語A		1前		2								兼2		
中国語B		1後		2								兼1		
中国語C		1前		2								兼2		
中国語D		1後		2								兼1		
ハンガールA	1前		2								兼1			
ハンガールB	1後		2								兼1			
ハンガールC	1前		2								兼1			
ハンガールD	1後		2								兼1			
海外語学研修	1・2・3前		2									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門必修科目	フレッシュマンセミナー	1通	4			9	2					
	コンピュータ活用Ⅰ	1前	2				+				兼1	担当者変更(25)
	基礎理数演習Ⅰ	1前	1			9	3					
	生物科学実習ⅠA	1前	1			9	2					
	コンピュータ活用Ⅱ	1後	2				1				兼+	担当者変更(25)
	基礎理数演習Ⅱ	1後	1			9	3					
	生物科学実習ⅠB	1後	1			9	2					
	キャリアデザインⅠ	2通	2			3						
	化学実験	2前	1								兼10	
	バイオサイエンスコミュニケーションⅠ	2前	1			9	2					
	生物科学実習ⅡA	2前	1			9	2					
	生物学実験	2後	1			8	2					
	バイオサイエンスコミュニケーションⅡ	2後	1			9	2					
	生物科学演習Ⅰ	2後	1			9	2					
	生物科学実習ⅡB	2後	1			9	2					
	キャリアデザインⅡ	3通	2			3						
	生物科学実験Ⅰ	3前	2			9	2					
	バイオサイエンスコミュニケーションⅢ	3前	1			9	2					
	生物科学実験Ⅱ	3後	2			9	2					
	生物科学実験Ⅲ	4前	1			9	2					
生物科学演習Ⅱ	4通	2			9	2						
卒業研究	4通	6			9	2						
生物科学科固有科目	生化学	1後		2		1						
	バイオテクノロジー	2前		2		1						
	海洋脊椎動物学	2前		2		1						
	海洋学	2前		2		1						
	多様性生物学	2前		2		1						
	生態学	2前		2		1						
	微生物学	2前		2		1						
	細胞生物学	2後		2							兼1	
	無脊椎動物学	2後		2		1						
	動物解剖学	2後		2		1						
	植物機能形態学	2後		2			1					
	魚類生理学	2後		2		1						
	動物生理学	2後		2		1						
	植物生理学	2後		2		1						
	分子生物学	2後		2							兼1	
	プランクトン学	2後		2			1					
	水質環境工学	3前		2							兼1	
	海洋生態学	3前		2			1					
	細胞組織学	3前		2		1						
	原生動物学	3前		2		1						
	植物系統分類学	3前		2		1						
	海洋動物発生学	3前		2		1						
	動物発生学	3前		2		1						
	保全生物学	3前		2		1						
	生物環境統計学	3前		2							兼1	
	海洋動物生産学	3後		2		1						
	生物環境工学	3後		2							兼1	
	極限環境の生物学	3後		2		1						
	遺伝子工学	3後		2							兼1	
神経生理学	3後		2							兼1		
野生動物保護論	3後		2		1							
植物生態学	3後		2			1						
菌類学	3後		2		1							
海洋生物学実習	3後		1		3	1						
動物学実習	3後		1		3							
植物学実習	3後		1		2	1						
専門関連科目	生物科学特別科目Ⅰ	1前		2		9	2					
	理工数学	1後		2							兼1	
	理工物理学	1後		2							兼1	
	理工化学	1後		2		1					兼+	教職課程申請の際の指導により担当者変更(25)
	理工生物学	1後		2		1						
	生物科学特別科目Ⅱ	2前		2		9	2					
	無機化学	2前		2							兼1	
	有機化学	2前		2							兼1	
	応用数学	2前		2			1					
	運動と波動	2前		2							兼1	
	分析化学	2後		2							兼1	
	食品微生物学	2後		2		1						
	化学環境学	2後		2							兼1	
	高分子化学	2後		2							兼1	
	電磁気学	2後		2							兼1	
	解析学	2後		2			1					
	生物科学特別科目Ⅲ	3前		2		9	2					
	栄養学	3前		2							兼1	
	食品寄生生物学	3前		2							兼1	
	水環境の物理学	3前		2							兼1	
	食品成分の化学	3前		2							兼1	
	水圏微生物学	3前		2			1					
	環境放射能測定学	3前		2							兼1	
	熱力学	3前		2		1						
	生物科学特別科目Ⅳ	3後		2		9	2					
	食品加工学	3後		2							兼1	
	食品分析化学	3後		2							兼1	
量子物理学	3後		2		1					兼+	教職課程申請の際の指導により担当者変更(25)	
酵素化学	3後		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
生物 科学 科 固 有 科 目 (つ づ き)	教職概論(中等) 教職概論	2前			2						兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更(25)
	教育制度論(中等) 教育制度論	2後			2						兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更(25)
	教育社会学	2前 3前			2						兼1	体系的履修の観点から配当年次変更(25)
	中等教科教育法Ⅰ(理科)	2通			4						兼1	
	中等教科教育法Ⅱ(理科)	3通			4						兼1	
	道德教育の指導法(中等) 道德教育の指導法	3前 3後			2						兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更・体系的履修の観点から配当年次変更(25)
	特別活動の指導法(中等) 特別活動の指導法	3後			2						兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更(25)
	教育課程論(中等) 教育課程論	3前			2						兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更(25)
	教育方法論(中等) 教育方法論	3後			2						兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更(25)
	生徒・進路指導の理論と方法(中等) 生徒・進路指導の理論と方法	2前			2						兼1	教職課程申請の際の指導により名称変更(25)
	教育実習事前事後指導	4前			1						兼2	
	中学校教育実習Ⅰ	4前			2						兼2	
	中学校教育実習Ⅱ	4前			2						兼2	
	高等学校教育実習	4前			2						兼2	
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼2	
	物理学実験	3前			1	1					兼9	
	地学	3前			2						兼1	
	地学実験	3前			1						兼1	
	生涯学習論	2後			2						兼1	
	地域文化政策論	3前			2						兼1	
	アートマネジメント	3後			2						兼1	
	博物館教育論	2後			2						兼1	
	博物館情報・メディア論	3後			2						兼1	
	博物館資料論	3前			2						兼1	
	博物館資料保存論	3後			2						兼1	
	博物館展示論	3前			2						兼1	
	博物館実習	4通			3						兼1	
	公衆衛生学	2前			2						兼1	
	食品衛生学	3前			2						兼1	
	環境衛生学	3後			2						兼1	
	衛生行政学	3後			2						兼1	
	健康と食生活論	2後			2						兼1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 28	科目 119	科目 32	科目 179	科目 28 [0]	科目 119 [0]	科目 32 [0]	科目 179 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	小数点以下の端数処理の統一による訂正(25)			
	校舎敷地	137,600 m ²	0 m ²	0 m ²	137,600 m ²				
	運動場用地	131,042 131,043 m ²	0 m ²	0 m ²	131,042 131,043 m ²				
	小 計	268,643 m ²	0 m ²	0 m ²	268,643 m ²				
	そ の 他	153,966 m ²	0 m ²	0 m ²	153,966 m ²				
	合 計	422,608 422,609 m ²	0 m ²	0 m ²	422,608 422,609 m ²				
校 舎		39,686 38,518 m ² (38,518 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	39,686 38,518 m ² (39,686 38,518 m ²)	誤記による訂正(25)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体(情報処理学習施設の1室に語学学習機能あり) 人間学部設置に伴い教室等を改修整備したことによる訂正(25)			
	30 34	16 13	57 56	8 (補助職員 2人)	0 (補助職員 0人)				
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数		申請学科全体			
		理工学部 食環境学科		9 室					
		理工学部 生物科学科		12 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体の共用分 図書162,726〔59,118〕 (視聴覚資料含む) 学術雑誌1,998〔774〕 電子ジャーナル48〔48〕 視聴覚資料1,619 機械・器具22 誤記による訂正(25)	
	理工学部全体	9,000〔876〕 (4,683〔269〕)	1,998 1,988 〔774〕	48〔48〕 (48〔48〕)	1,619 (1,619)	22 (22)	0 0		
	計	9,000〔876〕 (4,683〔210〕)	1,998 1,988 〔774〕	48〔48〕 (48〔48〕)	1,619 (1,619)	22 (22)	0 0		
	図書館	面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					
	3,496 m ²	261席	約200,000冊						
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	3,188 m ²	雨天体育場	テニスコート	弓道場					
経 費 の 見 積 り 及 び 維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	※共同研究費は大学全体 ※図書購入費は、届出2学科を含む学部全体 図書購入費には、電子ジャーナル・データベースの運用コスト含む。 ※設備購入費は届出2学科分 届出後に学費改定となったための訂正(25)
		教員1人当り研究費等	1,000千円	1,000千円	図書購入費	31,110千円	31,110千円	18,660千円	
		共同研究費等	15,200千円	15,200千円	設備購入費	57,455千円	17,210千円	9,230千円	
		学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		理工学部食環境学科	1,551 1,541 千円	1,311 千円	1,311 千円	1,311 千円	— 千円	— 千円	
	理工学部生物科学科	1,551 1,541 千円	1,311 千円	1,311 千円	1,311 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入、等						

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	石 巻 専 修 大 学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次	人		倍				
理工学部								宮城県石巻市南境新水戸1番地	} 平成25年度より募集停止	
機械工学科	4	40	3年次 8	191	学士(工学)	0.92	平成元年度			
情報電子工学科	4	40	3年次 8	191	学士(工学)	0.84	平成元年度			
基礎理学科	4	—	3年次 8	—	学士(理学)	—	平成元年度			
生物生産工学科	4	—	3年次 8	—	学士(工学)	—	平成元年度			
経営学部										
経営学科	4	200	3年次 35	990	学士(経営学)	0.72	平成元年度			
人間学部										
人間文化学科	4	40	—	40	学士(人間文化学)	0.20	平成25年度			
人間教育学科	4	40	—	40	学士(人間教育学)	0.67	平成25年度			
理工学研究科										
修士課程										
物質工学専攻	2	5	—	10	修士(工学)	0.40	平成5年度			
機械システム工学専攻	2	5	—	10	修士(工学)	0.10	平成5年度			
生命科学専攻	2	5	—	10	修士(理学)	0.60	平成5年度			
博士後期課程										
生命環境科学専攻	3	3	—	9	博士(理学)	0.33	平成7年度			
物質機能工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.11	平成7年度			
経営学研究科										
修士課程										
経営学専攻	2	5	—	10	修士(経営学)	0.30	平成5年度			
博士後期課程										
経営学専攻	3	3	—	9	博士(経営学)	0.22	平成9年度			
大学の名称	専 修 大 学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次	人		倍				
経済学部一部								神田校舎 東京千代田区神田神保町三丁目8番地1		
経済学科	4	480	—	1,920	学士(経済学)	1.13	昭和24年度			
国際経済学科	4	200	—	800	学士(経済学)	1.12	平成8年度			
法学部一部										
法律学科	4	550	—	2,200	学士(法学)	1.13	昭和24年度			
政治学科	4	150	—	600	学士(政治学)	1.12	平成18年度			
経営学部										生田校舎 神奈川県川崎市多摩区東三田二丁目1番地1
経営学科	4	530	—	2,120	学士(経営学)	1.14	昭和37年度			
商学部一部										
マーケティング学科	4	440	—	1,760	学士(商学)	1.17	昭和40年度			
会計学科	4	220	—	880	学士(商学)	1.14	昭和43年度			
文学部										
日本語学科	4	70	—	280	学士(文学)	1.16	平成22年度			
日本文学文化学科	4	110	—	440	学士(文学)	1.20	平成22年度			
英語英米文学科	4	140	—	560	学士(文学)	1.22	昭和41年度			
哲学科	4	70	—	280	学士(文学)	1.17	平成22年度			
歴史学科	4	130	—	520	学士(文学)	1.14	平成22年度			
環境地理学科	4	50	—	200	学士(文学)	1.24	平成22年度			
人文・ジャーナリズム学科	4	90	—	360	学士(文学)	1.22	平成22年度			
ネットワーク情報学部										
ネットワーク情報学科	4	230	—	920	学士(情報学)	1.09	平成13年度			
人間科学部										
心理学科	4	70	—	280	学士(心理学)	1.16	平成22年度			
社会学科	4	120	—	480	学士(社会学)	1.21	平成22年度			
経済学部二部										
経済学科	4	100	—	400	学士(経済学)	1.15	昭和24年度			
法学部二部										
法律学科	4	150	—	600	学士(法学)	1.06	昭和24年度			
商学部二部										
マーケティング学科	4	100	—	400	学士(商学)	1.20	昭和40年度			
経済学研究科										
修士課程										
経済学専攻	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(金融経済)	0.54	昭和27年度			
博士後期課程										
経済学専攻	3	3	—	9	博士(経済学)	0.44	昭和45年度			

法学研究科										
修士課程										
法学専攻	2	25	—	50	修士（法学）	0.26	昭和29年度			
博士後期課程										
民法法学専攻	3	3	—	9	博士（法学）	0.11	昭和30年度			
公法学専攻	3	3	—	9	博士（法学）	0.11	昭和49年度			
文学研究科										
修士課程										
日本語日本文学専攻	2	10	—	20	修士（文学）	0.85	昭和46年度			
英語英米文学専攻	2	5	—	10	修士（文学）	0.40	昭和46年度			
哲学専攻	2	5	—	10	修士（哲学）	0.20	昭和46年度			
歴史学専攻	2	10	—	20	修士（歴史学）	0.70	平成4年度			
地理学専攻	2	5	—	10	修士（地理学）	0.30	平成4年度			
社会学専攻	2	5	—	10	修士（社会学）	0.40	平成4年度			
心理学専攻	2	10	—	20	修士（心理学）	1.20	平成4年度			
博士後期課程										
日本語日本文学専攻	3	3	—	9	博士（文学）	0.88	昭和48年度			
英語英米文学専攻	3	2	—	6	博士（文学）	0.33	昭和48年度			
哲学専攻	3	2	—	6	博士（哲学）	0.16	昭和48年度			
歴史学専攻	3	5	—	15	博士（歴史学）	0.40	平成6年度			
地理学専攻	3	3	—	9	博士（地理学）	0.00	平成6年度			
社会学専攻	3	3	—	9	博士（社会学）	0.33	平成6年度			
心理学専攻	3	3	—	9	博士（心理学）	0.55	平成6年度			
経営学研究科										
修士課程										
経営学専攻	2	20	—	40	修士（経営学） 修士（情報管理）	0.52	昭和50年度			
博士後期課程										
経営学専攻	3	3	—	9	博士（経営学） 博士（情報管理）	0.00	昭和52年度			
商学研究科										
修士課程										
商学専攻	2	10	—	20	修士（商学）	0.55	昭和50年度			
会計学専攻	2	15	—	30	修士（商学）	0.96	平成22年度			
博士後期課程										
商学専攻	3	2	—	6	博士（商学）	0.50	昭和52年度			
会計学専攻	3	2	—	6	博士（商学）	0.16	平成22年度			
法務研究科										
専門職学位課程										
法務専攻	3	55	—	165	法務博士（専門職）	0.71	平成16年度			
大学の名称	専修大学 北海道短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
みどりの総合科学科	2年	—人	—年次	—人	短期大学士（農学）	—倍	平成18年度	北海道美唄市字美唄1610-1	}	平成23年度より募集停止
商経社会総合学科	2	—	—	—	短期大学士（経済学）	—	平成18年度			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 食環境学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専	教授	坂田 隆	平成25年4月	食糧問題と資源 食品機能科学 栄養学 フレッシュマンセミナー キャリアデザインⅠ 食環境学実習Ⅰ 食環境見学A 食環境学実習Ⅱ 食環境見学B 食環境学実験Ⅰ 食環境学演習Ⅰ 食環境学実験Ⅱ 食環境学演習Ⅱ 食環境学実験Ⅲ 食環境学演習Ⅲ 卒業研究 食品工学実習 食環境特別科目Ⅰ 食環境特別科目Ⅱ 食環境特別科目Ⅲ 食環境特別科目Ⅳ		教授(学長)				申請時の記載もれ(25)
専	教授	福島 美智子	平成25年4月	理工化学 分析化学 食品分析化学 環境放射能測定学 フレッシュマンセミナー キャリアデザインⅠ 食環境学実習Ⅰ 食環境見学A 化学実験 食環境学実習Ⅱ 食環境見学B 食環境学実験Ⅰ 食環境学演習Ⅰ 食環境学実験Ⅱ 食環境学演習Ⅱ 食環境学実験Ⅲ 食環境学演習Ⅲ 卒業研究 食品分析実習 食環境特別科目Ⅰ 食環境特別科目Ⅱ 食環境特別科目Ⅲ 食環境特別科目Ⅳ						
専	教授	高崎 みつる	平成25年4月	水質浄化工学 淡水資源学 水質環境工学 フレッシュマンセミナー キャリアデザインⅠ 食環境学実習Ⅰ 食環境見学A 化学実験 食環境学実習Ⅱ 食環境見学B 食環境学実験Ⅰ 食環境学演習Ⅰ 食環境学実験Ⅱ 食環境学演習Ⅱ 食環境学実験Ⅲ 食環境学演習Ⅲ 卒業研究 水環境学実習 食環境特別科目Ⅰ 食環境特別科目Ⅱ 食環境特別科目Ⅲ 食環境特別科目Ⅳ						
専	教授	山崎 達也	平成25年4月	化学 化学環境学 無機化学 フレッシュマンセミナー キャリアデザインⅡ 食環境学実習Ⅰ 食環境見学A 化学実験 食環境学実習Ⅱ 食環境見学B 食環境学実験Ⅰ 食環境学演習Ⅰ 食環境学実験Ⅱ 食環境学演習Ⅱ 食環境学実験Ⅲ 食環境学演習Ⅲ 卒業研究 水環境学実習 食環境特別科目Ⅰ 食環境特別科目Ⅱ 食環境特別科目Ⅲ 食環境特別科目Ⅳ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専	教授	柴田 清孝	平成25年4月	分子生物学 サプリメント論 遺伝子工学 フレッシュマンセミナー キャリアデザインⅡ 食環境学実習Ⅰ 食環境見学A 化学実験 食環境学実習Ⅱ 食環境見学B 食環境学実験Ⅰ 食環境学演習Ⅰ 食環境学実験Ⅱ 食環境学演習Ⅱ 食環境学実験Ⅲ 食環境学演習Ⅲ 卒業研究 食品分析実習 食環境特別科目Ⅰ 食環境特別科目Ⅱ 食環境特別科目Ⅲ 食環境特別科目Ⅳ						
専	教授	前田 敏輝	平成25年4月	理工物理学 運動と波動 食品レオロジー 水環境の物理学 フレッシュマンセミナー キャリアデザインⅡ 食環境学実習Ⅰ 食環境見学A 化学実験 食環境学実習Ⅱ 食環境見学B 食環境学実験Ⅰ 食環境学演習Ⅰ 食環境学実験Ⅱ 食環境学演習Ⅱ 食環境学実験Ⅲ 食環境学演習Ⅲ 卒業研究 食品工学実習 食環境特別科目Ⅰ 食環境特別科目Ⅱ 食環境特別科目Ⅲ 食環境特別科目Ⅳ 食品製造技術工学 食品流通と品質保証		教授 (学科主任)				学科新設に伴い学科主任に就任 (25)
				コンピュータ活用Ⅱ	兼任	准教授	太田 尚志	平成25年4月	コンピュータ活用Ⅱ	長期海外出張のため担当科目調整に伴う担当者変更(25)
専	准教授	鈴木 英勝	平成25年4月	食品寄生生物学 食品加工学 フレッシュマンセミナー 食環境学実習Ⅰ 食環境見学A 化学実験 食環境学実習Ⅱ 食環境見学B 食環境学実験Ⅰ 食環境学演習Ⅰ 食環境学実験Ⅱ 食環境学演習Ⅱ 食環境学実験Ⅲ 食環境学演習Ⅲ 卒業研究 食品工学実習 食環境特別科目Ⅰ 食環境特別科目Ⅱ 食環境特別科目Ⅲ 食環境特別科目Ⅳ	専	准教授	鈴木 英勝	平成25年4月	食品寄生生物学 食品加工学 フレッシュマンセミナー※ 食環境学実習Ⅰ※ 食環境見学A ※ 化学実験 食環境学実習Ⅱ※ 食環境見学B※ 食環境学実験Ⅰ※ 食環境学演習Ⅰ※ 食環境学実験Ⅱ※ 食環境学演習Ⅱ※ 食環境学実験Ⅲ 食環境学演習Ⅲ 卒業研究 食品工学実習 食環境特別科目Ⅰ※ 食環境特別科目Ⅱ※ 食環境特別科目Ⅲ※ 食環境特別科目Ⅳ※ コンピュータ活用Ⅰ	長期海外出張のため担当科目調整に伴う担当科目追加(25)
専	准教授	鳴海 史高	平成25年4月	有機化学 高分子化学 食品成分の化学 フレッシュマンセミナー 食環境学実習Ⅰ 食環境見学A 化学実験 食環境学実習Ⅱ 食環境見学B 食環境学実験Ⅰ 食環境学演習Ⅰ 食環境学実験Ⅱ 食環境学演習Ⅱ 食環境学実験Ⅲ 食環境学演習Ⅲ 卒業研究 食品分析実習 食環境特別科目Ⅰ 食環境特別科目Ⅱ 食環境特別科目Ⅲ 食環境特別科目Ⅳ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専	准教授	玉置 仁	平成25年4月	環境調査法 生物環境統計学 生物環境工学 フレッシュマンセミナー 食環境学実習Ⅰ 食環境見学A 化学実験 食環境学実習Ⅱ 食環境見学B 食環境学実習Ⅰ 食環境学演習Ⅰ 食環境学実習Ⅱ 食環境学演習Ⅱ 食環境学実習Ⅲ 卒業研究 水環境学実習 食環境特別科目Ⅰ 食環境特別科目Ⅱ 食環境特別科目Ⅲ 食環境特別科目Ⅳ						
兼任	教授	阿部 康一	平成25年4月	心理学 教育心理学	兼任	教授	阿部 康一	平成25年4月	心理学 教育心理学(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更(25)
兼任	教授	鈴木 均	平成26年4月	食と感覚の科学						
兼任	教授	木村 民男	平成25年4月	教育原理	兼任	教授	西方 守	平成25年4月	教育原理(中等)	教職課程申請の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
兼任	教授	土屋 剛	平成25年4月	食料問題と資源 動物解剖学 細胞組織学 生物学実験						
兼任	教授	大谷 尚文	平成25年4月	フランス語A 総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ	兼任	教授	大谷 尚文	平成25年4月	フランス語A 総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ フランス語B	担当科目追加(25)
兼任	教授	大津 幸一	平成25年4月	英語B	兼任	講師	藤掛 由美子	平成25年4月	英語B	担当者変更(25)
兼任	教授	深川 通寛	平成25年4月	基礎統計学 統計学						
兼任	教授	芳賀 信幸	平成25年4月	理工生物学 動物生理学 生物学実験						
兼任	教授	吉原 章	平成25年4月	物理学 熱力学						
兼任	教授	山崎 省一	平成25年4月	健康科学 スポーツ科学A スポーツ科学B						
兼任	教授	松谷 武成	平成25年4月	食料問題と資源 海洋動物発生学 生物学実験						
兼任	教授	佐々木 洋	平成26年4月	生態学 極限環境の生物学 生物学実験						
兼任	教授	西方 守	平成25年4月	哲学 倫理学 教育学概論 教育原理	兼任	教授	西方 守	平成25年4月	哲学 倫理学 教育学概論 教育原理(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更(25)
兼任	教授	佐藤 利明	平成25年4月	社会学						
兼任	教授	中込 真二	平成26年4月	化学実験						
兼任	教授	角田 出	平成25年4月	基礎化学 生物学実験 魚類生理学						
兼任	教授	安田 隆	平成26年4月	化学実験						
兼任	教授	長谷川 香子	平成25年4月	英語B 英語C 英語D	兼任	教授	長谷川 香子	平成25年4月	英語B 英語C 英語D 英語A	担当科目追加(25)
兼任	教授	根本 智行	平成26年4月	多様性生物学 植物系統分類学 生物学実験						
兼任	教授	宮崎 厚	平成26年4月	微生物学 生物学実験						
兼任	教授	松崎 俊之	平成25年4月	美学 芸術論						
兼任	教授	柳 明	平成25年4月	基礎生物学						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
兼任	教授	佐藤 正恵	平成26年4月	教育相談の理論と方法	兼任	講師	角田 真紀子	平成26年4月	教育相談の理論と方法(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
兼任	教授	根本 泉	平成25年4月	英語B 海外語学研修	兼任	教授	根本 泉	平成25年4月	英語B 海外語学研修 英語A	担当科目追加(25)
兼任	教授	三森 敏正	平成25年4月	法学						
兼任	教授	阿部 知顕	平成25年4月	生化学 食品微生物学 生物学実験						
兼任	准教授	依田 清胤	平成25年4月	食料問題と資源 生物学 植物生態学 生物学実験		教授				昇格のため(25)
兼任	准教授	阿部 正典	平成25年4月	基礎数学I 基礎数学II 理工数学	兼任	准教授	渡邊 正芳	平成25年4月	基礎数学I 基礎数学II	担当者変更(25)
兼任	准教授	恵原 貴志	平成25年4月	基礎物理学		教授				昇格のため(25)
兼任	准教授	Richard Halberstadt	平成26年4月	英語コミュニケーションC 英語コミュニケーションD						
兼任	准教授	太田 尚志	平成25年4月	コンピュータ活用I 水圏微生物学 プランクトン学 生物学実験	専	准教授	鈴木 英勝	平成25年4月	コンピュータ活用I	長期海外出張のため担当科目調整に伴う担当者変更(25)
兼任	准教授	山内 武巳	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B 健康と食生活論 食環境学実験III 食環境学演習III 卒業研究	兼任	准教授	太田 尚志	平成25年4月	水圏微生物学 プランクトン学 生物学実験 コンピュータ活用II	長期海外出張のため担当科目調整に伴う担当科目追加(25)
兼任	准教授	廣瀬 裕作	平成25年4月	日本文学 日本文化			後任未定			担当者変更予定(25)
兼任	准教授	輪田 直子(小尾)	平成25年4月	中国語A 中国語C						
兼任	准教授	大縄 道子	平成25年4月	英語A 英語B 英語D						
兼任	准教授	渡邊 正芳	平成25年4月	基礎数学I 応用数学 解析学	兼任	准教授	渡邊 正芳	平成25年4月	基礎数学I 応用数学 解析学 基礎数学II	担当科目追加(25)
兼任	准教授	庄子 真岐(三浦)	平成25年4月	地理学 都市論						
兼任	助教	永山 貴洋	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B						
兼任	助教	佐藤 誠子	平成26年4月	心理学 教育心理学	兼任	講師	角田 真紀子	平成26年4月	教育心理学(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
兼任	講師	村井 拓	平成27年4月	食品衛生学 衛生行政学						
兼任	講師	佐藤 博明	平成26年4月	公衆衛生学 環境衛生学						
兼任	講師	大森 信治郎	平成27年4月	フードコーディネータ論 調理学						
兼任	講師	富里 京子	平成25年4月	中国語A 中国語B						
兼任	講師	設楽 べっかリン	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	兼任	講師	柴田 和枝	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	担当者変更(25)
兼任	講師	設楽 宏二	平成25年4月	英語A	兼任	教授	長谷川 香子	平成25年4月	英語A	担当者変更(25)
兼任	講師	玉川 明朗	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B	兼任	教授	根本 泉	平成25年4月	英語A	担当者変更(25)
兼任	講師	佐々木 淳	平成25年4月	日本史						
兼任	講師	柴田 和枝	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB						
兼任	講師	金子 淳	平成27年4月	酵素化学						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
兼任	講師	藤掛 由美子	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	兼任	講師	上羽 広明	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	担当者変更(25)
					兼任	講師	藤掛 由美子	平成25年4月	英語A 英語B	担当科目追加(25)
兼任	講師	北村 勝朗	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B						
兼任	講師	上羽 広明	平成25年4月	英語A 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	兼任	講師	藤掛 由美子	平成25年4月	英語A	担当者変更(25)
兼任	講師	井出 留美	平成26年4月	フードスペシャリスト論						
兼任	講師	嶋崎 順子	平成25年4月	ドイツ語A ドイツ語B ドイツ語C ドイツ語D						
兼任	講師	宋 貞熹	平成25年4月	ハンブルA ハンブルB ハンブルC ハンブルD						
兼任	講師	佐々木 千佳	平成25年4月	歴史学	兼任	講師	杵淵 文夫	平成25年4月	歴史学	担当者変更(25)
兼任	講師	MENS Virgini Marie Lea	平成25年4月	フランス語C フランス語D						
兼任	講師	星 かおり	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB						
兼任	講師	高間 章	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B						
兼任	講師	島貫 葉子	平成25年4月	フランス語A フランス語B	兼任	教授	大谷 尚文	平成25年4月	フランス語A フランス語B	担当者変更(25)
兼任	講師	荒井 壮一	平成25年4月	基礎経済 経済学	兼任	助教	関口 駿輔	平成25年4月	基礎経済 経済学	担当者変更(25)
兼任	講師	河北 洋介	平成25年4月	日本国憲法	兼任	講師	小野 昇平	平成25年4月	日本国憲法	担当者変更(25)
兼任	講師	田島 花野	平成25年4月	中国語C 中国語D	兼任	講師	菅原尚樹	平成25年4月	中国語C 中国語D	担当者変更(25)
					兼任	講師	遠藤俊子	平成27年4月	調理学実習 食品官能評価・鑑別論演習	教育課程の充実に伴う科目追加(25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
6	3	0	0	9	6	3	0	0	9		
(6)	(3)	(0)	(0)	(9)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
	該当なし		

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<理工学部 生物科学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専	教授	土屋 剛	平成25年 4月	動物解剖学 野生動物保護論 細胞組織学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習 I 生物学実習 I A 基礎理数演習 II 生物学実習 I B キャリアデザイン I バイオインフォメーション I 生物学実習 II A 生物学実験 バイオインフォメーション II 生物学演習 I 生物学実習 II B 生物学実験 I バイオインフォメーション III 生物学実験 II 生物学実験 III 生物学演習 II 卒業研究 動物学実習 生物学特別科目 I 生物学特別科目 II 生物学特別科目 III 生物学特別科目 IV						
専	教授	芳賀 信幸	平成25年 4月	理工生物学 バイオテクノロジー 動物生理学 原生動物学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習 I 生物学実習 I A 基礎理数演習 II 生物学実習 I B バイオインフォメーション I 生物学実習 II A 生物学実験 バイオインフォメーション II 生物学演習 I 生物学実習 II B 生物学実験 I バイオインフォメーション III 生物学実験 II 生物学実験 III 生物学演習 II 卒業研究 動物学実習 生物学特別科目 I 生物学特別科目 II 生物学特別科目 III 生物学特別科目 IV						
専	教授	吉原 章	平成25年 4月	物理学 理工物理学 熱力学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習 I 生物学実習 I A 基礎理数演習 II 生物学実習 I B バイオインフォメーション I 生物学実習 II A 物理学実験 バイオインフォメーション II 生物学演習 I 生物学実習 II B 生物学実験 I バイオインフォメーション III 生物学実験 II 生物学実験 III 生物学演習 II 卒業研究 生物学特別科目 I 生物学特別科目 II 生物学特別科目 III 生物学特別科目 IV	専	教授(学部長)	吉原 章	平成25年 4月	物理学 理工物理学 熱力学 フレッシュマンセミナー※ 基礎理数演習 I※ 生物学実習 I A※ 基礎理数演習 II※ 生物学実習 I B※ バイオインフォメーション I※ 生物学実習 II A※ 物理学実験 バイオインフォメーション II※ 生物学演習 I※ 生物学実習 II B※ 生物学実験 I※ バイオインフォメーション III※ 生物学実験 II※ 生物学実験 III 生物学演習 II 卒業研究 生物学特別科目 I※ 生物学特別科目 II※ 生物学特別科目 III※ 生物学特別科目 IV※ 量子物理学	前任が任期満了のため学部長に就任するとともに、教職課程申請の指導により担当科目追加(25)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専	教授	松谷 武成	平成25年 4月	無脊椎動物学 海洋動物発生学 海洋動物生産学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習 I 生物科学実習 I A 基礎理数演習 II 生物科学実習 I B キャリアデザイン I バイオサイエンスコミュニケーション I 生物科学実習 II A 生物学実験 バイオサイエンスコミュニケーション II 生物科学演習 I 生物科学実習 II B 生物科学実験 I バイオサイエンスコミュニケーション III 生物科学実験 II 生物科学実験 III 生物科学演習 II 卒業研究 海洋生物学実習 生物科学特別科目 I 生物科学特別科目 II 生物科学特別科目 III 生物科学特別科目 IV						
専	教授	佐々木 洋	平成25年 4月	海洋学 生態学 極限環境の生物学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習 I 生物科学実習 I A 基礎理数演習 II 生物科学実習 I B キャリアデザイン I バイオサイエンスコミュニケーション I 生物科学実習 II A 生物学実験 バイオサイエンスコミュニケーション II 生物科学演習 I 生物科学実習 II B 生物科学実験 I バイオサイエンスコミュニケーション III 生物科学実験 II 生物科学実験 III 生物科学演習 II 卒業研究 海洋生物学実習 生物科学特別科目 I 生物科学特別科目 II 生物科学特別科目 III 生物科学特別科目 IV						
専	教授	角田 出	平成25年 4月	基礎化学 海洋脊椎動物学 魚類生理学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習 I 生物科学実習 I A 基礎理数演習 II 生物科学実習 I B バイオサイエンスコミュニケーション I 生物科学実習 II A 生物学実験 バイオサイエンスコミュニケーション II 生物科学演習 I 生物科学実習 II B 生物科学実験 I バイオサイエンスコミュニケーション III 生物科学実験 II 生物科学実験 III 生物科学演習 II 卒業研究 海洋生物学実習 生物科学特別科目 I 生物科学特別科目 II 生物科学特別科目 III 生物科学特別科目 IV						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専	教授	宮崎 厚	平成25年4月	微生物学 植物生理学 菌類学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習Ⅰ 生物科学実習ⅠA 基礎理数演習Ⅱ 生物科学実習ⅠB バイオインフォマティクスⅠ 生物科学実習ⅡA 生物学実験 バイオインフォマティクスⅡ 生物科学演習Ⅰ 生物科学実習ⅡB キャリアデザインⅡ 生物科学実験Ⅰ バイオインフォマティクスⅢ 生物科学実験Ⅱ 生物科学実験Ⅲ 生物科学演習Ⅱ 卒業研究 植物学実習 生物科学特別科目Ⅰ 生物科学特別科目Ⅱ 生物科学特別科目Ⅲ 生物科学特別科目Ⅳ						
専	教授	根本 智行	平成25年4月	多様性生物学 植物系統分類学 保全生物学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習Ⅰ 生物科学実習ⅠA 基礎理数演習Ⅱ 生物科学実習ⅠB バイオインフォマティクスⅠ 生物科学実習ⅡA 生物学実験 バイオインフォマティクスⅡ 生物科学演習Ⅰ 生物科学実習ⅡB キャリアデザインⅡ 生物科学実験Ⅰ バイオインフォマティクスⅢ 生物科学実験Ⅱ 生物科学実験Ⅲ 生物科学演習Ⅱ 卒業研究 植物学実習 生物科学特別科目Ⅰ 生物科学特別科目Ⅱ 生物科学特別科目Ⅲ 生物科学特別科目Ⅳ						
専	教授	阿部 知顕	平成25年4月	生化学 食品微生物学 動物発生学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習Ⅰ 生物科学実習ⅠA 基礎理数演習Ⅱ 生物科学実習ⅠB バイオインフォマティクスⅠ 生物科学実習ⅡA 生物学実験 バイオインフォマティクスⅡ 生物科学演習Ⅰ 生物科学実習ⅡB キャリアデザインⅡ 生物科学実験Ⅰ バイオインフォマティクスⅢ 生物科学実験Ⅱ 生物科学実験Ⅲ 生物科学演習Ⅱ 卒業研究 動物学実習 生物科学特別科目Ⅰ 生物科学特別科目Ⅱ 生物科学特別科目Ⅲ 生物科学特別科目Ⅳ	専	教授 (学科主任)	阿部 知顕	平成25年4月	生化学 食品微生物学 動物発生学 フレッシュマンセミナー※ 基礎理数演習Ⅰ※ 生物科学実習ⅠA※ 基礎理数演習Ⅱ※ 生物科学実習ⅠB※ バイオインフォマティクスⅠ※ 生物科学実習ⅡA※ 生物学実験 バイオインフォマティクスⅡ※ 生物科学演習Ⅰ※ 生物科学実習ⅡB※ キャリアデザインⅡ 生物科学実験Ⅰ※ バイオインフォマティクスⅢ※ 生物科学実験Ⅱ※ 生物科学実験Ⅲ 生物科学演習Ⅱ 卒業研究 動物学実習 生物科学特別科目Ⅰ※ 生物科学特別科目Ⅱ※ 生物科学特別科目Ⅲ※ 生物科学特別科目Ⅳ※ 理工化学	学科新設に伴い学科主任に就任するとともに、教職課程申請の指導により担当科目追加(25)

認可時の計画					変更状況					備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称			
専	准教授	依田 清胤	平成25年4月	生物学 植物機能形態学 植物生態学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習Ⅰ 生物科学実習ⅠA 基礎理数演習Ⅱ 生物科学実習ⅠB バイオインフォメーションⅠ 生物科学実習ⅡA 生物学実験 バイオインフォメーションⅡ 生物科学演習Ⅰ 生物科学実習ⅡB 生物科学実験Ⅰ バイオインフォメーションⅢ 生物科学実験Ⅱ 生物科学実験Ⅲ 生物科学演習Ⅱ 卒業研究 植物学実習 生物科学特別科目Ⅰ 生物科学特別科目Ⅱ 生物科学特別科目Ⅲ 生物科学特別科目Ⅳ		教授				昇格のため(25)		
専	准教授	太田 尚志	平成25年4月	コンピュータ活用Ⅰ	兼任	准教授	鈴木 英勝	平成25年4月	コンピュータ活用Ⅰ	長期海外出張者(鈴木英勝)の担当科目調整に伴う担当者変更(25)		
専	准教授	太田 尚志	平成25年4月	プランクトン学 海洋生態学 水圏微生物学 フレッシュマンセミナー 基礎理数演習Ⅰ 生物科学実習ⅠA 基礎理数演習Ⅱ 生物科学実習ⅠB バイオインフォメーションⅠ 生物科学実習ⅡA 生物学実験 バイオインフォメーションⅡ 生物科学演習Ⅰ 生物科学実習ⅡB 生物科学実験Ⅰ バイオインフォメーションⅢ 生物科学実験Ⅱ 生物科学実験Ⅲ 生物科学演習Ⅱ 卒業研究 海洋生物学実習 生物科学特別科目Ⅰ 生物科学特別科目Ⅱ 生物科学特別科目Ⅲ 生物科学特別科目Ⅳ	専	准教授	太田 尚志	平成25年4月	プランクトン学 海洋生態学 水圏微生物学 フレッシュマンセミナー※ 基礎理数演習Ⅰ※ 生物科学実習ⅠA※ 基礎理数演習Ⅱ※ 生物科学実習ⅠB※ バイオインフォメーションⅠ※ 生物科学実習ⅡA※ 生物学実験 バイオインフォメーションⅡ※ 生物科学演習Ⅰ※ 生物科学実習ⅡB※ 生物科学実験Ⅰ※ バイオインフォメーションⅢ※ 生物科学実験Ⅱ※ 生物科学実験Ⅲ 生物科学演習Ⅱ 卒業研究 海洋生物学実習 生物科学特別科目Ⅰ※ 生物科学特別科目Ⅱ※ 生物科学特別科目Ⅲ※ 生物科学特別科目Ⅳ※ コンピュータ活用Ⅱ			長期海外出張者(鈴木英勝)の担当科目調整に伴う担当科目追加(25)
専	准教授	渡邊 正芳	平成25年4月	基礎数学Ⅰ 応用数学 解析学 基礎理数演習Ⅰ 基礎理数演習Ⅱ	兼任	准教授	阿部正典	平成25年4月	基礎数学Ⅰ	担当科目調整に伴う担当者変更(25)		
兼任	教授	坂田 隆	平成27年4月	栄養学								
兼任	教授	阿部 康一	平成25年4月	心理学 教育心理学								
兼任	教授	菅原 澄夫	平成27年4月	物理学実験								
兼任	教授	鈴木 均	平成27年4月	神経生理学								
兼任	教授	國分 義弘	平成26年4月	電磁気学 物理学実験								
兼任	教授	木村 民男	平成25年4月	教育原理	兼任	教授	西方 守	平成25年4月	教育原理(中等)	教職課程申請の指導により科目名称変更・担当者変更(25)		
兼任	教授	大津 幸一	平成25年4月	英語B	兼任	講師	藤掛 由美子	平成25年4月	英語B	担当者変更(25)		
兼任	教授	大谷 尚文	平成25年4月	フランス語A 総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ	兼任	教授	大谷 尚文	平成25年4月	フランス語A 総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ フランス語B	担当科目追加(25)		
兼任	教授	深川 通寛	平成25年4月	基礎統計学 統計学								
兼任	教授	山崎 省一	平成25年4月	健康科学 スポーツ科学A スポーツ科学B								
兼任	教授	福島 美智子	平成25年4月	理工化学 分析化学 食品分析化学 環境放射能測定学 化学実験	専	教授	阿部 知顕	平成25年4月	理工化学	教職課程申請の指導により担当者変更(25)		

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
兼任	教授	西方 守	平成25年4月	哲学 倫理学 教育学概論						
				教育原理					教育原理(中等)	教職課程申請の指導により科目名称変更(25)
兼任	教授	佐藤 利明	平成25年4月	社会学 教育社会学						
兼任	教授	高崎 みつる	平成26年4月	水質環境工学 化学実験						
兼任	教授	中込 真二	平成26年4月	化学実験						
兼任	教授	安田 隆	平成26年4月	化学実験						
兼任	教授	長谷川 香子	平成25年4月	英語B 英語C 英語D	兼任	教授	長谷川 香子	平成25年4月	英語B 英語C 英語D 英語A	担当科目追加(25)
兼任	教授	笹原 英史	平成26年4月	教職概論	兼任	講師	小峰 直史	平成26年4月	教職概論(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
				道徳教育の指導法	兼任	講師	嶺井 正也	平成27年4月	道徳教育の指導法(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
				特別活動の指導法	兼任	講師	小峰 直史	平成26年4月	特別活動の指導法(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
				教育課程論	兼任	講師	山谷 幸司	平成27年4月	教育課程論(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
				教育方法論	兼任	講師	朝倉 充彦	平成27年4月	教育方法論(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
				教育実習事前事後指導 中学校教育実習Ⅰ 中学校教育実習Ⅱ 高等学校教育実習 教職実践演習(中・高)						
兼任	教授	工藤 すばる	平成27年4月	物理学実験						
兼任	教授	足立 岳志	平成27年4月	物理学実験						
兼任	教授	柳 明	平成25年4月	基礎生物学 細胞生物学						
兼任	教授	松崎 俊之	平成25年4月	美学 芸術論 地域文化政策論						
兼任	教授	柴田 清孝	平成26年4月	分子生物学 遺伝子工学 化学実験						
兼任	教授	山崎 達也	平成25年4月	化学 化学環境学 無機化学 化学実験						
兼任	教授	亀谷 裕敬	平成27年4月	物理学実験						
兼任	教授	前田 敏輝	平成25年4月	運動と波動 水環境の物理学 化学実験						
兼任	教授	佐藤 正恵	平成26年4月	教育相談の理論と方法	兼任	講師	角田 真紀子	平成26年4月	教育相談の理論と方法(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
兼任	教授	根本 泉	平成25年4月	英語B 海外語学研修	兼任	教授	根本 泉	平成25年4月	英語B 海外語学研修 英語A	担当科目追加(25)
兼任	教授	三森 敏正	平成25年4月	法学						
兼任	准教授	阿部 正典	平成25年4月	基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 理工数学						
兼任	准教授	惠原 貴志	平成25年4月	基礎物理学		教授				昇格のため(25)
				量子物理学	専	教授(学部長)	吉原 章	平成25年4月	量子物理学	教職課程申請時の指導により担当者変更(25)
兼任	准教授	Richard Halberstadt	平成26年4月	英語コミュニケーションC 英語コミュニケーションD						
兼任	准教授	山内 武巳	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B 健康と食生活論						
兼任	准教授	水野 純	平成27年4月	物理学実験						
兼任	准教授	廣瀬 裕作	平成25年4月	日本文学 日本文化			後任未定			担当者変更予定(25)
兼任	准教授	輪田 直子(小尾)	平成25年4月	中国語A 中国語C						
兼任	准教授	鈴木 英勝	平成25年4月	コンピュータ活用Ⅱ	専	准教授	太田 尚志	平成25年4月	コンピュータ活用Ⅱ	長期海外出張のため担当科目調整に伴う担当者変更(25)
				食品寄生生物学 食品加工学 化学実験	兼任	准教授	鈴木 英勝	平成25年4月	食品寄生生物学 食品加工学 化学実験 コンピュータ活用Ⅰ	長期海外出張のため担当科目調整に伴う担当科目追加(25)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
兼任	准教授	大縄 道子	平成25年4月	英語A 英語B 英語D						
兼任	准教授	鳴海 史高	平成26年4月	有機化学 高分子化学 食品成分の化学 化学実験						
兼任	准教授	玉置 仁	平成26年4月	生物環境統計学 生物環境工学 化学実験						
兼任	准教授	高橋 智	平成27年4月	物理学実験						
兼任	准教授	原口 和也	平成27年4月	物理学実験						
兼任	准教授	庄子 真岐 (三浦)	平成25年4月	地理学 都市論 アートマネジメント						
兼任	講師	木元 一彦	平成27年4月	物理学実験						
兼任	助教	永山 貴洋	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B						
兼任	助教	佐藤 誠子	平成26年4月	心理学						
				教育心理学	兼任	講師	角田 真紀子	平成26年4月	教育心理学(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
				生徒・進路指導の理論と方法	兼任	講師	小峰 直史	平成26年4月	生徒・進路指導の理論と方法(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
				教育実習事前事後指導 中学校教育実習Ⅰ 中学校教育実習Ⅱ 高等学校教育実習 教職実践演習(中・高)						
兼任	講師	尾田 太良	平成27年4月	地学 地学実験						
兼任	講師	千葉 善昭	平成26年4月	教育制度論	兼任	講師	佐藤 幹夫	平成26年4月	教育制度論(中等)	教職課程申請時の指導により科目名称変更・担当者変更(25)
				中等教科教育法Ⅰ(理科)	兼任	講師	石川 哲夫	平成26年4月	中等教科教育法Ⅰ(理科)	教職課程申請時の指導により担当者変更(25)
				中等教科教育法Ⅱ(理科)					中等教科教育法Ⅱ(理科)	
兼任	講師	村井 拓	平成27年4月	食品衛生学 衛生行政学						
兼任	講師	佐藤 博明	平成26年4月	公衆衛生学 環境衛生学						
兼任	講師	佐々木 勝基	平成26年4月	生涯学習論						
兼任	講師	富里 京子	平成25年4月	中国語A 中国語B						
兼任	講師	設楽 いかり	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	兼任	講師	柴田 和枝	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	担当者変更(25)
兼任	講師	設楽 宏二	平成25年4月	英語A	兼任	教授	長谷川 香子	平成25年4月	英語A	担当者変更(25)
					兼任	教授	根本 泉	平成25年4月	英語A	担当者変更(25)
兼任	講師	玉川 明朗	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B						
兼任	講師	佐々木 淳	平成25年4月	日本史 博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館展示論						
兼任	講師	柴田 和枝	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB						
兼任	講師	金子 淳	平成27年4月	酵素化学						
兼任	講師	佐藤 敏幸	平成27年4月	博物館資料論 博物館資料保存論 博物館実習						
兼任	講師	藤掛 由美子	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	兼任	講師	上羽 広明	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB	担当者の変更(25)
					兼任	講師	藤掛 由美子	平成25年4月	英語A 英語B	担当科目追加(25)
兼任	講師	北村 勝朗	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B						
兼任	講師	上羽 広明 (49)	平成25年4月	英語A	兼任	講師	藤掛 由美子	平成25年4月	英語A	担当者変更(25)
				英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB						
兼任	講師	嶋崎 順子	平成25年4月	ドイツ語A ドイツ語B ドイツ語C ドイツ語D						
兼任	講師	宋 貞熹	平成25年4月	ハンブルクA ハンブルクB ハンブルクC ハンブルクD						
兼任	講師	佐々木 千佳	平成25年4月	歴史学	兼任	講師	杵淵 文夫	平成25年4月	歴史学	担当者変更(25)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
兼任	講師	MENS Virgini Marie Lea	平成25年4月	フランス語C フランス語D						
兼任	講師	星 かおり	平成25年4月	英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB						
兼任	講師	高間 章	平成25年4月	スポーツ科学A スポーツ科学B						
兼任	講師	島貴 葉子	平成25年4月	フランス語A フランス語B	兼任	教授	大谷 尚文	平成25年4月	フランス語A フランス語B	担当者変更(25)
兼任	講師	荒井 壮一	平成25年4月	基礎経済 経済学	兼任	助教	関口 駿輔	平成25年4月	基礎経済 経済学	担当者変更(25)
兼任	講師	河北 洋介	平成25年4月	日本国憲法	兼任	講師	小野 昇平	平成25年4月	日本国憲法	担当者変更(25)
兼任	講師	田島 花野	平成25年4月	中国語C 中国語D	兼任	講師	菅原尚樹	平成25年4月	中国語C 中国語D	担当者変更(25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し, 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
9	3	0	0	12	10	2	0	0	12		
(9)	(3)	(0)	(0)	(12)	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
	該当なし		

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

<理工学部 食環境学科>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし		

<理工学部 生物科学科>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<理工学部 食環境学科>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①修了要件単位数 126 単位 必修科目 47 単位、選択科目 229 単位、自由科目 6 単位	①教育課程の充実に伴い、自由科目（2 科目・4 単位）を追加した。この結果、修了要件単位数 126 単位 必修科目 47 単位、選択科目 229 単位、自由科目 10 単位、に変更。

<理工学部 生物科学科>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>石巻専修大学では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取組みを推進するため、「石巻専修大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」に基づき、全学的な組織として「石巻専修大学FD委員会」を設置している。</p> <p style="text-align: center;">「石巻専修大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」</p> <p>(目的及び設置)</p> <p>第1条 石巻専修大学(以下「本大学」という。)に、ファカルティ・ディベロップメント(本大学の教育の質的向上を図るため、組織的に取り組む活動をいう。以下「FD」という。)の推進を目的としてFD委員会(以下「委員会」という。)を置く。</p> <p>(構成)</p> <p>第2条 委員会は、次の者をもって構成する。</p> <p>(1) 委員長 本大学の専任教員のうち学長が指名した者 1名</p> <p>(2) 委員 各学部長及び各研究科長から推薦された教員 各若干名</p> <p>(任期)</p> <p>第3条 委員長及び委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>2 委員長及び委員が任期中に欠けたとき、又は交代したときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第4条 委員会は、次の事項を審議する。</p> <p>(1) 教育活動改善の方策に関する事項</p> <p>(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案及び実施に関する事項</p> <p>(3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項</p> <p>(4) FDに関する報告書等の作成に関する事項</p> <p>(5) 部会からの報告及び審議に関する事項</p> <p>(6) その他FDの推進に関する事項</p> <p>(招集)</p> <p>第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。</p> <p>(大学院部会)</p> <p>第6条 委員会に、大学院のFDを推進するため大学院部会を置く。</p>

2 大学院部会は、大学院のFDに係る事項について検討し、及び委員会に報告するものとする。

3 大学院部会に関し必要な事項は、委員会が定める。

(事務所管)

第7条 委員会の事務は、事務部事務課が所管する。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、委員会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年5月1日から施行する

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

石巻専修大学FD委員会は、年間5回程度の開催を予定している。また、必要に応じて臨時委員会を開催する。

c 委員会の審議事項等

石巻専修大学FD委員会が審議する事項は、「教育活動改善の方策に関する事項」「初任者及び現任者の研修計画の立案及び実施に関する事項」「学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項」「FDに関する報告書等の作成に関する事項」「部会からの報告及び審議に関する事項」「その他FDの推進に関する事項」である。

② 実施状況

a 実施内容

- ・FDネットワークつばさ関連情報提供や企画等への教員派遣
- ・初任者研修会（採用時）
- ・授業参観（公開授業）
- ・FD教員研修会（教員セミナー）
- ・授業評価アンケート
- ・その他の活動

b 実施方法

- ・FDネットワークつばさ関連情報提供や企画等への教員派遣：本学は「FDネットワーク“つばさ”（協議会事務局山形大学）」に参加しており、授業評価アンケート様式の利用の他、“つばさ”が行う企画への教員派遣や各種情報の学内還元などを実施
- ・初任者研修会（採用時）：新任教員の採用時にFD委員会委員長や事務部による研修委員会の活動内容や授業に際しての留意点等を解説
- ・授業参観（公開授業）：年2回程度、大学全体で公開可能な教員を募り実施（検討会も併せて実施）
- ・FD教員研修会（教員セミナー）：内外講師により教育改善のための勉強会を実施
- ・授業評価アンケート：全学的に3年に1度の割合で実施。平成20年度以降は「FDネットワーク“つばさ”」に参加し参加大学共通の調査様式を利用
- ・その他の活動：その他関連の取組を適宜実施する他、学部内でも必要に応じ補完的な取組を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FDネットワークつばさ関連情報提供や企画等への教員派遣：平成25年度は未実施
- ・初任者研修会（採用時）：平成25年度は4月に実施（参加は新規採用教員のみ）
- ・授業参観（公開授業）：平成25年度は未実施
- ・FD教員研修会（教員セミナー）：平成25年度は未実施
- ・授業評価アンケート：（※③参照）
- ・その他の活動：平成25年度は未実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今年度が開設年度であり、現時点においては未だ実施していない。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

石巻専修大学では、3年に1度の割合で全学的な授業評価アンケートを実施しており、最近では平成23年度に実施したところである。次回は平成26年度を予定している。なお、この空白期間、人間学部では補完的な調査を行い授業改善等に活用する計画である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

石巻専修大学では、平成23年度に実施した授業評価アンケートについて、全科目別の集計結果と分析結果を報告書（平成25年3月発行）として取りまとめるとともに、平成25年6月を目安に学内の教員や学生はもちろん、FDネットワーク“つばさ”の全参加校と宮城県内の全大学へ配布する他、ホームページ上にも掲載する。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

石巻専修大学の自己点検・評価は、全教職員により全学的に取り組むことを基本として、全体的な自己点検・評価については、「石巻専修大学自己点検・評価に関する規程」に基づき、自己点検・評価全学委員会（※委員長は学長から指名された教授）、自己点検・評価運営委員会（※自己点検・評価全学委員会委員長が兼務）、個別機関自己点検・評価委員会（※委員長は各個別機関の長）が連携協力して自己点検・評価を実施する。自己点検・評価全学委員会は、本学の自己点検・評価活動を全学的な視野で総合的包括的に指揮・統括を行い、自己点検・評価運営委員会は円滑な実施・運営のための全学的な調整を担当し、個別機関委員会は、各個別機関の点検・評価を行う任務分担となっている。なお、本学では、加盟している財団法人大学基準協会の認証評価を7年ごとに受けており、平成25年度はそのために必要な申請（平成24年度）を終え、評価を受ける年度となっている。

従って、今回の認証評価には、人間学部に関する内容は含まれていない。しかし、人間学部では、石巻専修大学が大学としての内部の質保証の観点から毎年度行っている、自己点検・評価全学委員会と各個別機関が連携しての自己点検・評価作業の活動に基づき、「設置の趣旨・目的」の達成状況などについて、継続して点検・評価を行うこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

財団法人大学基準協会の認証評価の結果及び申請した自己点検評価・報告書については、平成26年4月以降に公表する予定である。

b 公表方法

上記aの財団法人大学基準協会の認証評価の結果及び申請した自己点検評価・報告書については、印刷物やCDとして、財団法人大学基準協会の加盟大学や石巻市等の関係機関へ送付するとともに、ホームページに掲載するなどして公表する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

石巻専修大学では、大学基準協会による認証評価を7年ごとに受けており、今回（平成24年度に申請準備、平成25年度に評価）の後の認証評価は平成32年度となる。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2013年 7月 5日)